

議会だより おぶせ

No. 124
2026.04.20

発行／長野県小布施町議会



目次

■令和8年度予算	... P.1-2
■議員のシテン	... P.3-4
■3月会議の議決内容	... P.5-6
■おぶせファーマーズとの意見交換会	... P.7
■町民との意見交換	... P.8
■町民アンケート	... P.9-10
■一般質問	... P.11-16
■議会傍聴、編集後記	... 裏表紙

表紙写真：認定こども園栗ガ丘幼稚園卒園式のひとこま

令和8年度予算 全会一致で可決



令和8年度予算の評価

大宮町長の公約と第7次総合計画の実現に向けた「実行の予算」です。

新たな基本構想の実現に向けた行政運営を推進し、長期的展望に基づき基本構想の目標達成に向けた計画的な行政運営を継続し、本町の目指す将来像「私たちがいきいきと暮らし、つながりの力で向けた計画的な行政運営を継続する「輝くまち小布施」の実現へ、スピード感ある事業展開を行う予算としての評価をしました。

区分	令和8年度 当初予算	令和7年度 当初予算	増減額	増減率
一般会計	75億6,100万円	70億2,000万円	+5億4,100万円	+7.7%
国民健康保険 特別会計	12億3,575万6千円	13億1,414万3千円	△7,838万7千円	△6.0%
後期高齢者医療 特別会計	2億8,507万1千円	2億5,054万4千円	+3,452万7千円	+13.8%
介護保険 特別会計	12億6,560万1千円	12億1,426万6千円	+5,133万5千円	+4.2%
水道事業 企業会計	3億4,061万7千円	2億7,125万4千円	+6,936万3千円	+25.6%
下水道事業 企業会計	7億244万2千円	6億7,619万1千円	+2,625万1千円	+3.9%

令和8年度（2026年度）「小布施町当初予算案の概要」の詳細は、町ホームページ（右記QRコード）をご覧ください。



次の主な予算内容について、資料請求や質疑を行い審査しました。

Q 消防小布施分署施設整備負担金の内容は

A 消防・救急活動の拠点である小布施分署を再整備します。2カ年で整備予定です。
[予算額 3億4,740万円]

Q 学校給食費実質無償化に向けた補助金の内容は

A 国県の支援を受け、子育て支援を目的に、子育て家庭への経済的負担を軽減します。
[予算額 5,244万4千円]

Q 北斎を通じたナント市との国際交流事業の内容は

A 葛飾北斎がつなぐフランス・ナント市との文化背景に相互の文化交流を深化させます。
[予算額 680万5千円]

Q 北斎館開館50周年・墨田区30周年記念式典事業の内容は

A 北斎館開館50周年、東京都墨田区との交流30周年を祝い記念式典を実施します。
[予算額 187万2千円]

Q ながの電力（株）の再生可能エネルギー電源建設促進貸付金の内容は

A 官民一体となった発電設備の導入促進を同時に進めることで、エネルギーの地産地消と地域経済の循環を図ります。
[予算額 4,800万円]

Q 住民票などのコンビニ交付システム事業の内容は

A マイナンバーカードを活用し、全国のコンビニエンスストアなどで証明書の取得を可能にする交付サービスを導入します。
[予算額 4,860万6千円]

Q 大人の地域留学事業について、事業内容の詳細説明を

A 島根県^{あまちょう}海士町との広域的な事業連携を図り、都市部の若者などに対して地域を体験する機会を設け、関係人口の創出・拡大を促進します。
[予算額 2,899万7千円]

Q 地域活性化起業人、地方創生事業推進支援業務委託料および地域経済循環創造事業補助金の内容は

A 民間企業などの社員を一定期間受け入れる「地域活性化起業人制度」を活用し、専門的な知見やノウハウ、ネットワークを本町の施策へ反映していきます。また、国地域経済循環創造事業を活用して新たなビジネスを支援します。
[予算額 3,695万円]



地域活性化イメージ

Q 販路拡大・親元就農者支援・定年帰農者等支援補助金の内容は

A 農業の持続可能性を確保するため、農家の方々を包括的に支援する補助事業を実施します。若手後継者の定着や、多様な人材の確保、収益性の高い販路開拓を一体的に支援します。
[予算額 1,664万8千円]

Q 新町立保育所建設基本計画策定は

A 施設の老朽化に伴い安全上の課題を解消し、児童が健やかに、かつ安全に過ごせる保育環境を確保する再整備計画を推進します。
[予算額 924万円]

Q 母子保健事業としての子育て環境の充実

A 産後ケア事業委託、子育て支援アプリなど妊娠から子育て期にわたる切れ目のない支援体制を整備します。母子の健康保持増進を図るとともに、産後のケアや育児を社会全体で支え、安心して子育てができる環境を整えます。
[予算額 1,785万1千円]

Q 北斎の町記念講演事業の内容は

A 北斎の町として50周年を迎える年を記念し、葛飾北斎の魅力を再発見する記念講演を実施予定です。映画監督や俳優、落語家、テレビ出演者などを予定しています。
[予算額 174万4千円]

議員のシテン



大宮町長2年目の実行予算
令和8年度予算についてそれぞれの議員は何を思う？

01 田中助一議員



希望に満ちた事業と
予算総額の増への不安

大宮町長らしい新たな希望に満ちた事業を盛り込んだ積極的な予算と受け止めます。一方、増え続ける予算総額に不安も覚えます。今後、小布施町に合う財政規模を堅持し、事業の精査も必要です。

02 村中容議員



関係人口創出に向けた
新規事業に期待

農業振興費に新規事業が追加された点を評価。また、国の交付金を積極的に活用した新規事業に期待。併せてしっかりと効果検証も必要。限られた予算の中で最大限の効果を期待しています。

03 山崎博雄議員



昨年に引き続き
積極的な予算を評価

昨年度と比較して、一般会計予算7.7%の増で75億6,100万円の積極予算です。関係人口の施策、北斎館50周年事業、ゼロカーボン事業、農業振興などに対して積極的な予算を評価しました。

04 小倉繭議員



重点対策加速化・町営グラ
ウンド保守管理費・農政

重点対策加速化費は湾岸情勢からも石油依存電力体制を打破することは大事。児童生徒放課後対策として昨年の事故グラウンド整備費の予算が出ていない。少人数教員体制での外部委託をするとかの方法で優先順位を今後も注視。

05 久保田守彦議員



島根県海士町の「大人の島
留学制度」の取り入れ

予算約2,900万円。都市部の若者に3カ月、1年と期間を区切り、小布施町での就労と暮らしを体験し、その後の定住の促進につなげるのが目的。昨今、人手不足がささやかれる当町事業者にも朗報になるか。

06 竹内淳子議員



町の活性化を図るための
新規施策に注目

関係人口創出、農業経営基盤強化、地域創生推進事業、学校給食費補助拡充など積極的な町の活性化推進新規施策が盛り込まれた。今後の取り組みの充実、成果を期待する。

07 関良幸議員



町長公約の農業振興に期待
したい

新規事業の、親元就農者支援事業交付金、定年帰農者等支援事業補助金、販路拡大支援事業補助金は評価。農業振興に関する各種補助金については、効果を検証し、一過性に終わることなく、有用性・実効性のある事業としてほしい。

08 寺島弘樹議員



農業振興、交通施策に係る
新規事業及び見直し事業

農業振興費について、地元懇談会などでの要望を受け、新規施策として親元就農者支援などの補助が立ち上がり評価します。見直し事業については、借地料の見直しや解消に向けた対策や取り組みが見られません。

09 中村雅代議員



「新町立保育所建設基本計画策
定」「こども計画策定委託料」

保育園は子どもたちの「生活の場」。安全性、快適性などと共に成長を支援する場としてどうかを見極めていきたい。豊かな自然の中で、子どもが好奇心を満ちし、主体的に活動できるか策定に関わっていきたい。

10 福島浩洋議員



令和8年度一般会計予算
総額75億6,100万円過去最大

町長の方針としての「小布施町の更なるにぎわいと活性化を目指し、国県からの交付金獲得の工夫をした予算、子どもたちや高齢者町民不安の物価高騰に配慮した組み立て」について二元代表者として見守ります。

11 小淵晃議員



高井鴻山記念館と中島千波
館の入館料は「無料」に

「フローラルガーデン」に続いて、「高井鴻山記念館」と「中島千波館」が、小布施町の皆さんは無料で入館できるようになりました。買物や散歩の際にはお気軽にお寄りください。(町の所有物ですから当然です)

12 関悦子議員



将来の世代も安心して
暮らせる施策に力を！

持続可能な町づくりに「環境」は必須の中、再生可能なエネルギー事業の加速化は必要。また、人口減少を少しでも緩やかにと地域経済循環創造事業や都市部の若者たちが当町での暮らし体験などは移住対策に有効と期待する。



小西和実議長

議長は予算決算常任委員会の委員ではないのですが、それぞれの議員独自の視点に注目してください！



令和8年3月会議 主な議決の内容

町民の暮らしに関わる議案の議決結果を一部抜粋して紹介します
さらに詳しい議決結果は議会ホームページに順次掲載予定ですのでご確認ください

総務産業常任委員会

小布施町ふるさと創造館の設置および管理に関する条例について

ふるさと創造館の管理者を委託先から町へ戻すことになりました。

小布施町行政手続条例の一部を改正する条例について

町が不利益処分(許認可の取消しなど)をしようとする時、名宛人(相手方)の所在が不明な場合の公示を庁舎内のディスプレイでも表示できるようになりました。

特別職の職員で非常勤の者の報酬および費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

監査委員や消防団員の報酬が増額され、消防団の出動手当が明記されました。

小布施町資金積立基金条例の一部を改正する条例について

企業版ふるさと納税と、県からの宿泊税の交付に対する2つの基金が新設されました。

フローラルガーデンおぶせの設置および管理に関する条例の一部を改正する条例について

フローラルガーデンおぶせの利用料金を無料とすることが条例に明記されました。

小布施町営駐車場条例の一部を改正する条例について

町営駐車場の使用料が改訂されました。森の駐車場と松村駐車場で使用料が分けられました。

小布施町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について

消防団員の公務災害補償が増額されました。

長野広域連合規約の変更について

「高齢者福祉施設等」の記載が「養護老人ホームおよび特別養護老人ホーム」に変更されました。

長野市及び小布施町における連携中枢都市圏形成に係る連携協約の一部を変更する連携協約の締結について

自然エネルギーの活用に関する事項が追加されました。

令和8年3月会議 主な議決の内容

福祉教育常任委員会

小布施町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例について

民間保育所の運営基準を定める条例が新たに制定されました。

小布施町立歴史民俗資料館設置条例の一部を改正する条例について

歴史民俗資料館の入館料が改訂されました。

高井鴻山記念館設置および管理などに関する条例の一部を改正する条例について

高井鴻山記念館の入館料が改訂されました。

おぶせミュージアムの設置および管理に関する条例の一部を改正する条例について

おぶせミュージアムの入館料が改訂されました。

小布施町立保育所条例の一部を改正する条例について

こども誰でも通園制度の運用に向け条例が一部改訂されました。

小布施町保育所運営審議会条例の一部を改正する条例について

放課後児童クラブに関する審議も併せて行えるようになりました。

小布施町老人福祉センターの設置および管理に関する条例の一部を改正する条例について

現状に合わせて浴場などの一部設備が廃止されました。

小布施町千年樹の里の設置および管理に関する条例の一部を改正する条例について

利用時間と利用料の見直しが行われました。

小布施町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

子ども・子育て支援金の実施に伴う項目が追加されました。

小布施町副町長の選任について

田中洋友副町長の退任に伴い新たに坪井俊文氏が副町長に選任されました。

おぶせファーマーズと意見交換会を行いました

- 日時 令和8年1月21日(水)18:00～
- 会場 小布施町商工会2階
- 概要

1. おぶせファーマーズおよび議会議員の自己紹介
2. 島田智仁代表より活動内容および課題の説明
3. 意見交換会（要望事項）



おぶせファーマーズとは

2018年に23人で町の農業の発展のため町が立ち上げた農業団体で、現在70人余りの会員が所属しています。

主に県内外の出荷先への販売、マルシェへの出店、ふるさと納税返礼品事業などの活動を実施しています。



意見交換会での主な内容

- ▶首都圏で開催する小布施マルシェなどに手厚い助成をいただきたい。
- ▶シカなど野生鳥獣の被害が増大しており対策を講じていただきたい。
- ▶押羽地区は荒廃農地が増え周辺農地への雑草の繁茂など悪影響がある。また、凍霜害対策に防霜ファンの設置を小規模農地でも集約するなどして可能にしてほしい。
- ▶人口減少に伴い農業人口の減少は深刻であり少人数の家族経営には苦慮している。農業法人設立の助成金など支援が欲しい。
- ▶北部地区の田畑で黒煙が上がるほど火を焚いているが近隣住民に配慮した対応をしてほしい。
- ▶昨年は降雨量が少なく農作物に深刻な影響を与えたので灌漑設備のない地区への対策を望む。井戸掘りなど安定した水の供給ができるのではないかな。
- ▶須坂市は新規就農でブドウなどの果樹棚設置費用の補助があるが小布施町はない。また、住居支援の借家が不便である。
- ▶「第57回全国栗園経営研究会 長野県大会」が来年開催されますのでご支援をお願いします。

ご参加いただいた皆さんには、心から感謝申し上げます。

今後、意見交換会にて議論されました今回の課題を取りまとめ、調査研究の参考とさせていただきますとともに、議会活動に反映することができるよう取り組んでいきます。改めて、ありがとうございました。

町民との意見交換会について

令和7年9月、議長の諮問を受け、議員定数・報酬等検討特別委員会が設置され、研修、学習会を重ねる中で、町民の皆さんのお声をお聞きすることになりました。

令和8年1月11日午後6時30分から公民館講堂において意見交換会を開催、寒い中8名の方が足を運んでくださり、次のとおりの発言などがありました。



今までも、この件に関して長年にわたり検討してきた経緯があるが、特別委員会はそれをどのように生かしているのでしょうか。

議員の頑張っている姿が見られるのであれば、定数を変えることは反対です。



南箕輪村の人口は県で唯一の自然増しており、小布施町の人口より6千人も多く、議員定数は10人、議員報酬は22万円で活動しています。このような状況が成り立っているのを研究して参考にしないのでしょうか。

定数を減らすのであれば、やはり民意が届かず、町民からは議会が遠くなり、離れてしまう。身近に議員がいてくれるのは大切だと思います。



議会活動が活発に行われ、議会改革がしっかり行えてこそ、諸問題に対応できるのではないのでしょうか。

減らすことには抵抗があります。なぜ削減が必要なのかは実際に経験してこそ分かることでもあり、議員経験者として議員報酬と定数について聞きたいです。



1

議員定数の検討状況と町民アンケート実施について

小布施町議会では、人口減少社会にふさわしい「適切な議員定数」の検討を進めています。検討にあたっては、以下の4つの多角的な調査を実施しました。

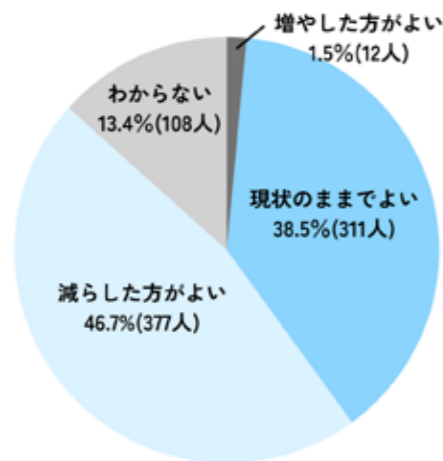
- ・データ分析：近隣自治体の定数・報酬推移の比較分析
- ・住民対話：町民意見交換会の開催および全世帯アンケートの実施
- ・行政視察：定数削減を行った類似団体への先進地視察
- ・論点整理：全国町村議長の指針に基づく指標の策定（委員会人数、議員1人当たりの有権者数など）

2

町民アンケートの集計結果（概要）

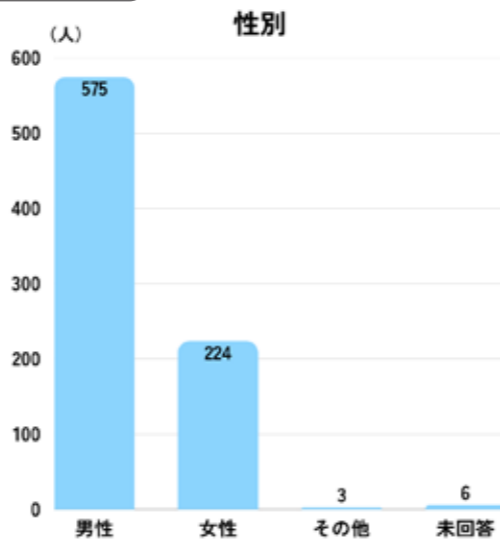
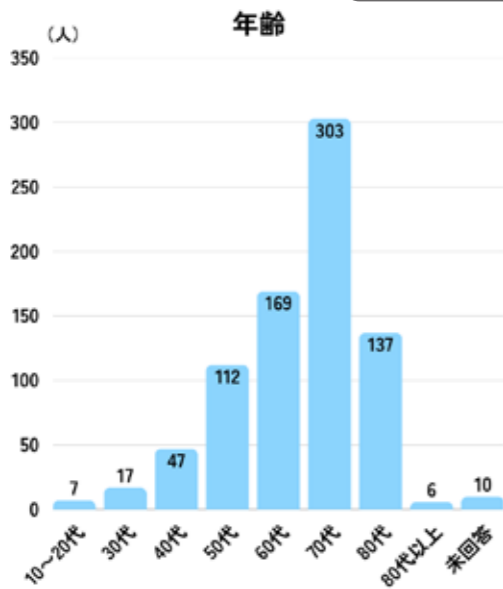
住民対話として、実施したアンケート結果をお知らせします。

議員定数に関する意識調査



○回答数…808人
 ○送付数…3,829世帯
 ○回答率…21.1%

回答年齢および性別



3

町民から寄せられた主な意見

■ 議員定数の現状維持を求める意見

- 1) 民意の反映と多様性の確保
 - ・人数を減らすことで、特定の層の意見が切り捨てられることへの懸念。
 - ・住民の声を行政に届けるパイプ役として14名は必要。
 - ・定数を減らすと、若手や女性など多様な人材が立候補する機会を奪い、議論の幅を狭めてしまう。
- 2) 議会機能の維持と負担の適正化
 - ・「議員一人ひとりの負担が増え、チェック機能が低下する」ことへの懸念。
 - ・多岐にわたる町政課題に対し、現在の委員会構成で専門的な審査を行うには14名が最低ライン。
 - ・これ以上の削減は議員1人あたりの負担増を招き、さらなる「なり手不足」を加速させる。
- 3) 近隣比較と現状の安定性
 - ・「他自治体との比較や現状の実績から、変更の必要がない」とする意見
 - ・類似規模の近隣町村と比較しても議員1人あたりの住民数に大差はなく、現在の定数は妥当。
 - ・現状で大きな支障なく運営できている以上、安易に減らすべきではない。

■ 定数削減・少数精鋭を求める主な意見

- 1) 町の規模・人口に見合った議員定数への是正を求める意見
 - ・人口減少や県内最小の面積という実情に対し、現在の14名は過剰である。
 - ・人口1,000人に1人(10~12名)、あるいは近隣市との比率や町内9コミュニティ(9名)に合わせるなど、客観的指標に基づいた適正化を求める。
- 2) 議会の質的向上と少数精鋭化の期待
 - ・人数を絞り、議論を活性化させるべき。
 - ・「数より質」を重視し、優秀な人材による少数精鋭で運営することで、より生産的で緊張感のある議論と、効率的な議会運営(審議時間の短縮など)を目指すべき。
- 3) 財政負担の軽減と運営実態の追認
 - ・コスト削減の視点と、現在の欠員状態でも支障がないという実態に基づく意見。
 - ・議員報酬などの経費を節減し住民サービスへ還元すべき。
 - ・現在1名の欠員(13名)で運営できている実績を、そのまま定数削減の根拠とすべき。

など主な意見が寄せられました。



お知らせ

今回のアンケート結果は、議員定数を判断する上での重要な「材料の一つ」です。議会といたしましては、この結果に加え、実施した「4つの多角的な調査事項」を総合的に勘案し、議員一人ひとりが議論を尽くした上で、組織としての結論を導き出していきます。

今後の検討の方向性については、次号の「議会だより」にてお知らせします。



鳥獣被害防止特措法と 町内の有害鳥獣駆除体制は



町内各農地でニホンジカ駆除がなぜ後手に回るのか



小倉 蘭議員



予算案編成における前例に とられない再構築予算編成を



町長の予算編成への指示内容また町民参加型予算編成は



寺島 弘樹議員



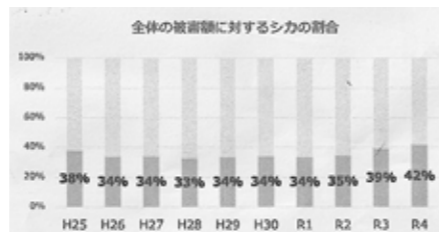
情報収集と駆除担い手の 猟友会の協議に手間取りお詫び

宮崎
産業振興
課長

令和6年と7年2月時点での獣類捕獲頭数は、ニホンジカ20頭、11頭、ツキノワグマ各1頭、他4種が続き、既存の小布施町鳥獣被害防止計画は必要に応じ見直しを行います。

現在駆除の担い手は8名の小布施猟友会で、町、JA、雁田、土地改良区での組織の有害鳥獣駆除推進協議会から年127万円の活動費、加えて、捕獲実績に対し3千円～2万円を町から支払いをしています。今後は担当職員含め、課全体で対応します。

有害鳥獣被害額(県資料より) ▶



町政が前に進む施策の推進や 聖域なき事業内容の検討

大宮
町長

宮川
企画財政
課長

町長 第7次総合計画の推進と町長公約の実現に向けた具体的な施策の検討、次に既存事業の廃止も含めた検討、3点目は厳しい財政運営の状況下、使用料の価格設定の見直しや精査等の事業検討等の指示を含め予算編成に取り組んできました。

課長 町民参加型予算編成は未検討ですが、「まちづくり委員会」、農商工連携の枠組みである「町全体活性化協議会」や「町政懇談会」などにより、多様な意見を今後も町政に反映させてまいります。

〇〇万円、何に使う? ▶



放課後児童クラブの現状と課題は



支援員の確保や運営方針は



中村 雅代議員



小布施ならではの滞在型農業体験 と地域支援型農業の共創型提案



滞在型の援農消費者と農家がつながる仕組みづくりを提案



竹内 淳子議員

○その他質問項目…町政懇談会における地域課題や町民ニーズの町への反映は



質の高いサービスの提供に 民間委託を予定しています

益満
子ども課長

現状は利用児童数が増加し、特に長期休み中は支援員などスタッフ不足や活動場所の確保が課題となっています。

今後は民間事業者が持つ経験や資源を活用し、安定的な運営体制の確立に向け、民間へ委託することを予定しています。10月以降をめどに考えています。

異なる年齢で好きな活動を楽しむ ▶



民間の農業体験は広報面で支援し 地域支援型農業は検討

宮崎
産業振興
課長

宿泊型の農村体験や収穫体験などの企画の情報提供や関係者のマッチングを行います。

地域支援型農業は安定的な農業経営や新規就農の動線として、農村活性化の一つの手段と考えています。先進地の取り組みなどを学びながら検討します。





部活動の地域移行に伴う
「空白の時間」の問題について



なぜ活動時間までランチルームを開放できないのか



村中 容 議員

○その他質問項目…投票済証の活用について



主に見守りの人員が
不足していることが原因です

山崎
教育長

町には現在10のクラブがあり、多くが待機時間は長くありません。地域移行前に使っていたランチルームは見守り人員の不足が原因で使用できません。昨年から人員確保に向けた方法を模索しましたが、予算を含めさまざまな課題があり、人員の確保には至っておりません。

子どもたちが生涯にわたりスポーツ・文化芸術活動に親しむことができる環境づくりに向け、アンケートなどを含めて関係者と共に協議してまいります。



安全な待機場所のイメージ ▶



町長公約・総合計画の実行予算の
政治姿勢と予算編成の方向性は



実行の新年度予算方針に伴う予算編成の姿勢は



山崎 博雄 議員



大切にしたのは事業の意図
そして思いを実現できる事業

大宮
町長

直面する社会情勢において、事業目的に対して適切な手段を講じることを大切にしながら予算編成を行いました。限られた財源のなかで予算を重点配分した施策領域については、一昨年の町長選挙で掲げた3つの柱（農業・農村の活性化、子育て支援の拡充、高齢者への生活支援の充実）に関わる事業で、特に優先的な検討を指示し、各種新規事業の構築につなげています。

積極財政のイメージ ▶



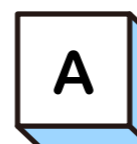
小布施町の行政サービスの
充実度は



ゴミ集積所設置の増減の判断基準への考えは



久保田 守彦 議員



町民の利便性を確保できるよう
基準を早急に設けたい

小林
住民税務
課長

既存のごみステーションが手狭な状況にも関わらず、増設を認められない事例があるとのこと指摘に対し、基準が明確でなく、運用方針のみを一方向的に伝え、自治会の状況や要望などについて十分に相談に応じることができていなかったものと反省しています。

今後、各自治会の状況を把握し、町民の皆さんの利便性を確保できるよう基準を早急に設けていきます。切迫している自治会に対しては、できるだけ早い時期に指針を示していきたいと考えています。



ゴミステーションのイメージ ▶



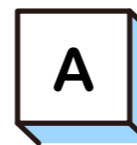
我が小布施町の公共料金
12%引き上げの答申について



12%値上答申を町民の皆さんへ具体的な説明方は



福島 浩洋 議員



町民の意見を伺い
町の方針を説明していきます

山本
建設水道
課長

上下水道運営審議会から安定した経営、将来の施設更新の原資を確保するため水道料・下水道使用料を改定する答申を受けましたが、最終的な町の方針は決定していない現状です。今後、毎年実施のコミュニティ・自治会対象の町政懇談会や企業・飲食店などを対象とした説明会で、また、大勢の住民の皆さんが参加できる会場での説明会で、わかりやすく説明し、ご意見をお聞きしながら検討を行い、令和8年度上半期中をめどに方向性を示していきたいと考えています。

新しくなった町営配水池2,000tの貯留槽 ▶





町の情報公開 住民参加の在り方に積極性はあるのか



町のホームページに教育委員などの名前が出ていません



田中 助一 議員

○その他質問項目…人件費、建物の建替など控え、予算の組み立てに問題ないか



委員の了承を得て
公表していきます

須山
総務課長

農業委員や教育委員などの行政委員会の委員について就任時には町報でお知らせしているものの、町のホームページには載せていない状況です。今後、委員の了承をいただき公表していきます。また、ホームページで計画策定にあたりパブリックコメントを求めています。計画策定後は見える状況がありません。こちら改善していきます。

審議会の傍聴の可否、資料の取り扱い、統一した運用となるよう指針を策定します。

小布施町のホームページ「教育委員」で検索▶



「北斎館開館 50 周年」を祝し、入館券を全戸に配布を



北斎館の入館券を全戸配布する考えは



小淵 晃 議員

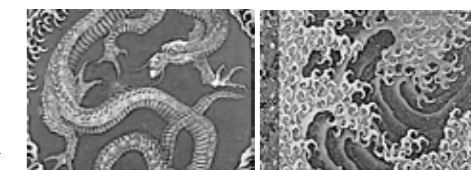


町民の皆さんが北斎館に入館
できるよう北斎館と検討します

大宮
町長

町でも、北斎の町50周年を記念し、北斎館と連携しながら、さまざまな記念事業を実施していきます。町民の皆さんが「北斎の町」であることの誇りや喜びを感じていただけるような1年にしていきたいと考えています。北斎館開館50周年の節目の年に、町民の皆さんが北斎館を訪問していただけるよう、北斎館と共に検討していきます。また、本年度より「歴史民族資料館」「高井鴻山記念館」「おぶせミュージアム・中島千波館」を町民の皆さんは「入館は無料」としましたので、併せてご観覧ください。

左:東町屋台天井図(龍図)、右:上町屋台天井図(男浪図)▶



庁用車の管理運営について



職員の安全運転指導、ドライブレコーダーの設置状況は



関 悦子 議員

○その他質問項目…公民館活動の推進について



例年安全運転講習会実施
未設置の公用車3台も設置する

須山
総務課長

公用車は総務課で一元的に管理し車両の適切な管理、アルコールチェック、安全運転教育などを行っています。ドライブレコーダーは、39台設置済みで残り3台にも早急に設置します。

西側駐車場は約30台分の駐車スペースがあり、今後は庁舎南側に購入した土地を予定し概ね同程度の駐車台数を確保します。公用車の効率的運用には総務課でのパソコンによる使用状況が一目で確認、管理ができています。

公用車駐車状況▶



おぶせフラワーセンターの今後の展望は



販売収入額増を図る具体策や施設の有効活用の考えは



関 良幸 議員



収支改善に努め特売日設定や
果物などの直売を検討したい

宮崎
産業振興
課長

現在、町内の花壇を彩る花苗の供給源として花のまちづくりを支える重要な役割を果たしていると考えます。計画的かつ効果的な投資や施設の維持修繕を心がけ、花苗の販売価格の見直しなども視野に入れて収支の改善に努めていきます。特売日の設定や農家の皆さんにご協力いただいた果物や野菜の直売は、実現に向けて検討を進めたいと考えます。今後の花のまちづくりの方向性を検討しつつ施設運営の在り方も早急に検討していきます。

有効活用が期待されるセンター▶



小布施町 3 月議会傍聴の感想

先日、初めて町議会の傍聴に足を運びました。議場に足を踏み入れてまず驚いたのは、傍聴席から発言者の様子や、議員・執行部の方々の表情がよくわかる点です。モニター越しでは伝わらない緊張感や議論の熱量を、直接肌で感じることができました。

一方で、強く印象に残ったのが傍聴者の少なさです。手続きは簡単で、誰でも自由に参加できる開かれた場であるにも関わらず、当日の傍聴席には私たちを含めて2組のみという状況でした。自分たちの暮らしに直結する重要な意思決定の場が、平日の昼間とはいえ、比較的静かな状況であったことに、少し寂しさを感じるとともに、今後の議会のあり方についても考えさせられました。

現在、日本の選挙では若者の投票率が低く、国や町の政治に対する関心の低さが指摘されています。忙しい日々の中で、どのようにすれば政治への関心を高めたいのかという点も、今後の課題であると感じました。まずは、身近な町の政治から興味を持てるような働きかけが必要ではないかと思います。

今回の経験を通して、議会は決して遠い存在ではなく、私たちの関心によって支えられるべきものであると再認識しました。議場全体の緊張感や真剣な雰囲気を感じたことで、今後も町の行方に主体的な関心を持ち続けていきたいと思っています。



小川 あずささん

編集後記



北信濃に春が訪れ、花の咲く時になり一斉に咲き乱れます。花のまち小布施にぴったりの季節です。また、この時期は別れと出会いの時期とも言われます。それぞれの人生の節目が訪れ、皆さんにも思い出と新しい出会いがあると思います。

私は春が来るたびに、ひとつ年を重ね、自分の目に映る景色が少しずつ変わっていくのを感じるようになりました。

驚くほどの速さで過ぎ去る時の流れを惜しみながら、残された日々の中で、どんなにささいな出来事も大切に心に刻んでいきたいと願っています。

皆さんは、いかがでしょうか。

3月議会においても、大宮町長2年目の令和8年度当初予算を中心に審議しました。町民の皆さんの生活へ直に通じる政策、そしてこれからの小布施町の道筋を立てる予算が盛り込まれています。議会においてももしっかり見守っていききたいと思います。ご協力いただいた議員定数町民アンケートのご意見を、真摯に受け止め、今後議会改革を進めて行きます。

引き続き、議会だよりの充実やご意見を聴く場を設けていきますので、よろしくお願ひします。



発行責任者

議長：小西和実

広報広聴常任委員会

委員長：山崎博雄
副委員長：村中容

委員：田中助一、小倉繭、久保田守彦、竹内淳子、関良幸、寺島弘樹、中村雅代、福島浩洋、小淵晃、関悦子、小西和実